

『デサント』ブランドにて フェンシング競技ウェア、ソックスを開発

株式会社デサントは、『デサント』ブランドにてフェンシング競技ウェアを開発いたしました。同ウェアは、国際フェンシング連盟からの承認を受けた初めての日本製のウェアで、今後日本代表選手にサプライしていきます。

これまで、フェンシング競技ウェアは海外製が主流で日本人の体型にあったウェアがなく、また洗濯すると縮みやすいなど品質面での課題もありました。そういった課題を解決するため、オリジナル生地の開発および当社が得意とするパターン設計のノウハウを駆使し、日本人選手の体型に合う、より動きやすい新たなフェンシング競技ウェアを開発しました。

競技で着用するジャケットとパンツ用に東洋紡 STC 株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：にしやましげお西山重雄）と共同で、強度を保ちつつも縮みにくい国産のオリジナル生地の開発に成功しました。これまでのスポーツウェア開発で培った知見を活かし、当社の研究開発拠点である「DISC (DESCENTE INNOVATION STUDIO COMPLEX) OSAKA」において新たにフェンシング競技ウェア用のパターンを作製しました。肩が上がった状態やひざが曲がった状態の立体的なパターンにより、上下ともにフェンシングの動きに追随しやすい形状になっています。ジャケットは、脇の切り替えをなくし、生地を1枚使いにすることで、腕を上げやすくするなど、安全性のために強度も保ちつつ、素早い動作のための動きやすさを当社の強みであるパターン設計と生地開発で実現しました。国内の自社工場において一着ずつ縫製する、まさに Made in Japan のウェアです。

また、パフォーマンスを高めるのに効果的なフェンシング専用のソックスも開発しました。靴の中での足の滑りを抑制し、0.01秒でも速く動けるよう、足裏のグリップ材を様々な形状・面積・位置で検証し、フェンシングの動作に最適な組み合わせを採用しました。

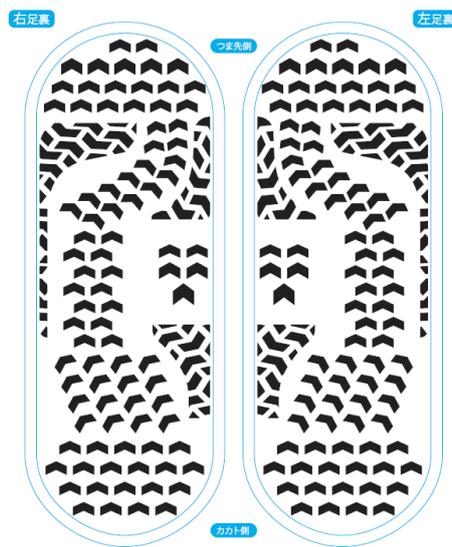
今後も、さらなる改良のためフェンシングの動作解析・検証を行い、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようサポートするとともに、「モノを創る力」の強化に努めてまいります。



『デサント』ブランド フェンシング競技ウェア



「DISC OSAKA」で行ったフェンシングの基本動作解析の様子



様々なグリップ材の形状・面積・位置で検証し、
最適な組み合わせを採用